

子どもたちに 百人一首を指導

—青少年育成協木津支部—

青少年健全育成村民会議木津支部では、子どもの健全な遊びを指導普及し「生活に張り」をもたせるため、冬期間百人一首の指導を行なっています。

計画によると、十二月と一月の日曜日、及び冬休みの期間中に、上・中・下地区各四回計十二回指導練習をし、納会を二月に予定しています。

参加者は、指導の都合などから小学校四年生以上の男女各地区十二名ほどに限り、練習時間は、毎回午前中の二時



上の句を読みはじめるともう手が動きます

間となつています。木津支部は、村の青少年健全育成村民会議が結成されてから、いち早く支部をつくって古紙や空ビン、空缶などの回収をしたり、親子登山を計画するなど、地域の青少年育成対策に積極的に取り組んでいます。

このたびも冬期間（冬期休業）のタイミングもよく、その成果が期待されています。百人一首の練習場を提供し指導もされている山田正三さん宅では、練習日ともなれば十二、三名の子どものが集まって、分館で行なう二月の納会（大会）にむけて張り切った練習に励んでいます。

山田正三氏の話
百人一首は最初から面白いものでなく、二〇首くらい暗誦して漸く興味が増すという努力を要する遊びです。この遊びで努力の成果がわかる面白さが、健全育成に役立つと思います。

百人一首が、家族の遊びとなれば親子の断絶どころか、心の結びつきは一層固まるでしょう。

最初の年で練習も少なく、大きな期待は無理かも……とにかく子どもは嬉々として楽しんでながらやっています。優雅なこの室内遊びが、地区の各家庭に普及することを祈っています。

第3回 農業祭

直売で大にぎわい

古農具・住居展示

懐かしさにうっとり

村と横越村農協が共催する第三回横越村農業祭が、十一月二十二・二十三日の二日間、公民館を主会場に開かれました。

農産物品評会、農畜産物即売会、余技展、芸能祭などのほか、今年が横越村合村八十周年記念の年であることから、とくに企画した「横越村農業八十年の歩み展」や、映画「芦沼」の上映、伝統芸能の披露などが多彩にくり広げられ、いつもとひとあじ違ったにぎわいを見せました。



人気を呼んだ即売会

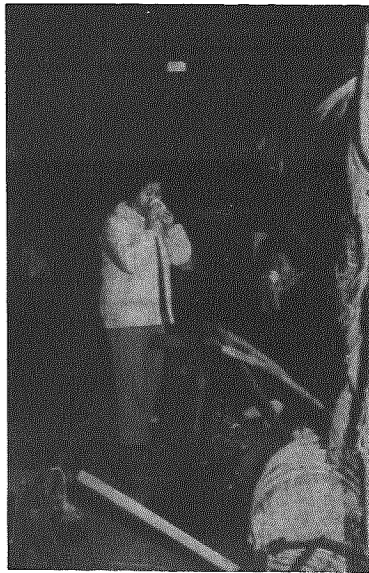
農業祭の花形は、なんといつも農産物の品評会と即売会で、会場いっぱい並べられた長いも、ごぼう、キャベツなど代表的な村特産の根菜類やなしなどは、ためいきが出るほどみごとなできばえばかりです。これらが大会場で即売されるとあって大変な人気を呼び、たちまち売り切れてしまいました。また、おいしい贈り物「コシヒカリ」（五〇〇袋）も、三分間でなくなるというにぎわいでした。横越村農業八十年の歩み展

は、古い農家の住居を再現して見せ、会場に入った年輩の人たちは、懐かしそうに見とれていました。

このほか余技展では、藤駒老人クラブの竹細工、そして農協婦人部の手芸や書道、そのほか漬物展示などもあって、会場はバラエティーに富みくると人を楽しませてくれました。

農業祭の最後を飾る芸能祭は、横越小学校体育館で行なわれ、神楽・獅子舞、剣舞など村内の伝統芸能が披露されて大勢の見物人から、かっさいを受け付けていました。

なかでも木津下地区の「サンバイシ神楽」は、棧俵を二つ合わせて頭をつくり、髪をヒエ、目を茄子、鼻を南瓜にした奇抜なアイデアはおもしろく、昔、貧しかった農民の生活の知恵がしのばれました。



お茶をすすり古い住居を懐かしそうに見る主婦

表彰 農業生産に 精進努力された方々

今回の農業祭における農産物品評会、及び今年度の優良米共励会、酪農衛生管理共励会、養豚肉質改善共励会などへ出品、参加されて精進努力し立派な成績を挙げ、入賞された方々の表彰式が、十一月二十三日公民館で行われました。

入賞者は次のとおりです。

◎優良銘柄米

生産出荷共励会

- 団体の部
 - 一位 横越上農家組合
 - 二位 観音小路農家組合
 - 三位 木津上農家組合
- 個人の部
 - 優秀賞 横越上地区 市村 功一
 - 〃 中地区 高橋 三郎
 - 〃 下地区 五十嵐芳男
 - 川根谷内地区 長谷部仁作
 - 〃 沢海上地区 別所 松衛
 - 〃 沢海中地区 井浦 豊

- 〃 下地区 角田 弘
- 〃 木津上地区 宇野 日本
- 〃 中地区 石井 隆
- 〃 下地区 金子 甚一
- 〃 二本木上地区 植木 博栄
- 〃 中地区 青木 卯一
- 〃 下地区 熊木 惣衛
- 〃 小杉上地区 宮嶋 作一
- 〃 中地区 遠藤彦太郎
- 〃 下地区 遠藤 文一
- 〃 藤駒地区 阿部 松男



木津下地区のサンバイシ神楽

郷土芸能の 保存伝承に 功労の方々

郷土の伝統芸能を受け継ぎ後進の指導にご苦勞された次の方々が、今回の農業祭における芸能祭会場で表彰されました。

- ◎農産物品評会
 - 村長賞 長辛 立川 幸一
 - 農協組合長賞 梨 仲村 忠雄
 - 農委会長賞 里幸 立川 幸雄
 - 村議会議長賞 午野 嶋原 源一
 - 士改工区長賞 白葉 桑原 音次
 - 普及所長賞 キャベツ板垣 仁栄
- ◎養豚肉質改善共励会
 - 最優秀賞 今井 国雄
 - 優秀賞 宮沢 熊一
 - 優良賞 相馬 多
- ◎優良賞
 - 遠藤 鉄蔵
 - 植木 喜一郎
- ◎酪農衛生管理共励会
 - 最優秀賞 杉本 治一郎
 - 優秀賞 中川 悦生
 - 優良賞 高橋 達夫
 - 〃 二野 官長一
 - 〃 佐藤 藤一
 - 馬場 助松

昭和57年度

保育園児募集

受付は1月21日まで

昭和五十七年度の保育園、児童館の入所申請を次により受付します。

なお、現在入園中の者でも引き続き入園希望の場合も必ず申請してください。

◎申し込み

1. 入園申請書（保健福祉課及び各保育園にありませう。）
2. 勤労所得者は、昭和五十六年度の源泉徴収票（幼児の両親、祖父母）これがない場合は「勤務証明書」「内職工賃支払証明書」を必ず添付ください。

◎受付期間

昭和五十七年一月十六日から一月二十一日まで

◎受付場所

役場保健福祉課
なお、左記により集合受付を行ないますので、なるべく当日おいでください。

| 地区 | 日 | 時間 | 場所 |
|-------|--------|-------------|--------|
| 横越・小杉 | 一月二十日 | 9.30~12.00 | 藤山・駒込 |
| 沢海・木津 | 二月二十一日 | 午前9.00~1.00 | 横越村公民館 |

※勤務証明書、内職証明書の用紙は保健福祉課各保育園にあります。

3. 家族が病氣などの場合は医師の書明証（七十歳以上の老人は不要）

◎入園決定通知

昭和五十七年三月初旬（予定）に個人通知いたします。

◎保育園の目的
幼児の保育は、本来家庭において保護者が行うことが最も自然で、理想の姿といえます。

しかし、保護者が勤労又は疾病などで、家庭に保育する者がいなく十分な保育ができない幼児を家庭の保護者にかわって保育する施設が保育園です。

都市開発などの立案に利用されたり、また、みなさんの各種製品の生産、販売計画をたてる場合の参考にもなるなど生活と深い関係があります。

調査をお願いする製造事業所には、年末年始にかけて調査員が調査票を持って伺いますので、ご協力をお願いします。

なお、調査票に記載された内容は、外部にはおしらせませんので安心してご記入ください。

人権擁護委員に 岩橋光御さん再任



九月定例会で人権擁護委員の推せん同意

をうけていた、岩橋光御さん（56才・川根谷内）が、このほど法務局から正式に委嘱され、再任されました。

人権擁護委員は、国民に保障されている基本的な人権を擁護し、自由人権思想の普及高揚を図るために置かれています。今後ともよろしくお願ひします。

工業統計調査にご協力を！

製造業の皆さん、通商産業省では昭和五十六年工業統計調査を実施します。

この調査は製造業を営む事業所を対象として、製造品の出荷額、原材料使用額、有形固定資産額などを昭和五十六年十二月三十一日現在で調査し、工業の実態を明らかにすることを目的としています。

この調査の結果は、例えば

